

令和7年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	14	議席 番号	8	氏名	山 藤 陽 子 議員	1 / 1
発 言 項 目		要 旨				答 弁 者
1 小中学校の女子トイレに生理用品を常備することについて		コロナ禍で生活が困窮している女性の「生理の貧困」が問題視され、世界や日本国内でも生理用品の無償配布が広がっている。公明会でも令和3年4月に、市長、教育長へ「コロナ禍における女性の負担軽減に関する要望書」を提出した。また、若林志津子前市議会議員、渡辺佳正議員も一般質問で質問されてきた。本市でも、女性が生理用品を受け取りやすい環境を整えていただき感謝している。しかし、今、長引く物価高騰で、子育て世代の生活は困窮している。「生理の貧困」対策がますます必要になると考える。生理用品は生活になくてはならないものであり、家庭の経済的理由等で購入できない場合はもとより、急遽必要になった場合も含めて、児童生徒の心身に影響を与えるものである。必要な時に児童生徒がいつでも自由に生理用品を使えるように、小中学校の女子トイレに生理用品を常備できないか伺う。 (1) 思春期の体の変化について、どのような教育が行われているか伺う。 ① 小学校3年、4年生は保健の授業を男女ともに同じ教室で学び、中学校では保健体育を男女別に実施している学校もあるようだが、授業内容を伺う。 また、男女ともに教育をすることにより、生徒たちの心や行動に変化があったか伺う。 ② 保護者と一緒に学ぶ機会はあるのか伺う。 (2) 保健室での生理用品の配布状況、取組について伺う。 ① 月平均、何人の生徒がもらいに来て、枚数は何枚渡しているのか。 理由は聞いているのか。小学生、中学生のどの学年が多いのか伺う。 ② 生徒の様子や生徒に相談されたことにより、何か支援につなげることはできたのか伺う。 ③ 生徒が安心して気軽に相談できるように取り組んでいることはあるのか。また、生徒から要望を聞くことがあるのか伺う。 (3) 市の防災倉庫に備蓄している生理用品の数量と使用期限が切れてしまう生理用品の取扱い及び災害時に生理用品を生理以外に活用する方法はあるか伺う。 (4) 備蓄品の生理用品を活用することにより、ローリングストックすることができる。備蓄品の生理用品を小中学校の女子トイレに常備することができないか伺う。 (5) モデル校を設置し、生徒からアンケートを取り、今後の参考にすることはできないか伺う。 (6) 民間から生理用品の贈呈依頼があった場合の対応を伺う。				市長 副市長 教育長 関係部長